

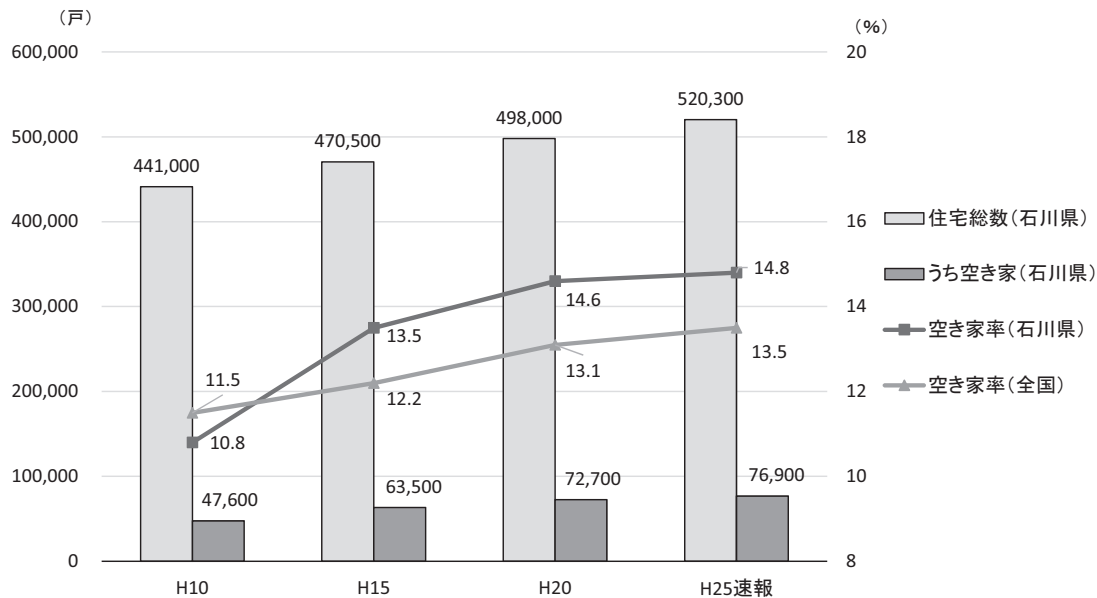
V 統計トピックス

○石川県内、空き家事情

平成25年住宅・土地統計調査の結果速報が、先日公表されました。これによると、石川県内の住宅総数は520,300戸で、前回平成20年調査から22,300戸増え（+4.5%）、平成10年調査と比較すると79,300戸の増加（+18%）となりました。また、住宅のうち「空き家」の戸数（76,900戸）も同じく増加傾向にあり、平成20年との比較では4,200戸増（+5.8%）、平成10年と比較すると29,300戸増（+61.6%）と大幅に増えていることがわかります。

住宅総数に占める空き家の割合「空き家率」をみると、前回から0.2ポイント増の14.8%で、引き続き、県内の住宅のうち7戸に1戸以上が空き家という状況になっています。なお、空き家率を他県と比較すると、47都道府県中低い方から数えて28位。今回調査で空き家率が最も低かったのは宮城県（9.4%）、次いで2位沖縄県（10.4%）、3位山形県（10.7%）となり、最も高かったのは山梨県（22.0%）でした。

住宅数・空家数の推移



資料) 総務省統計局「住宅・土地統計調査」